

# 西宮 市政ニュース



Nishinomiya Muni. Bulletin

平成14年 (2002年) 1月10日 / 第1150号

## 今号の主な記事

市長と市民の新春対談	4・5面
17日、西宮震災記念碑公園に献花・記帳所を設置	2面
「市長、教育長と本音でトーク」の参加親子募集	3面
新春クイズ2002	8面

発行 / 西宮市役所 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号  
TEL / 0798-35-3151 (代表)  
ホームページ / <http://www.nishi.or.jp/>

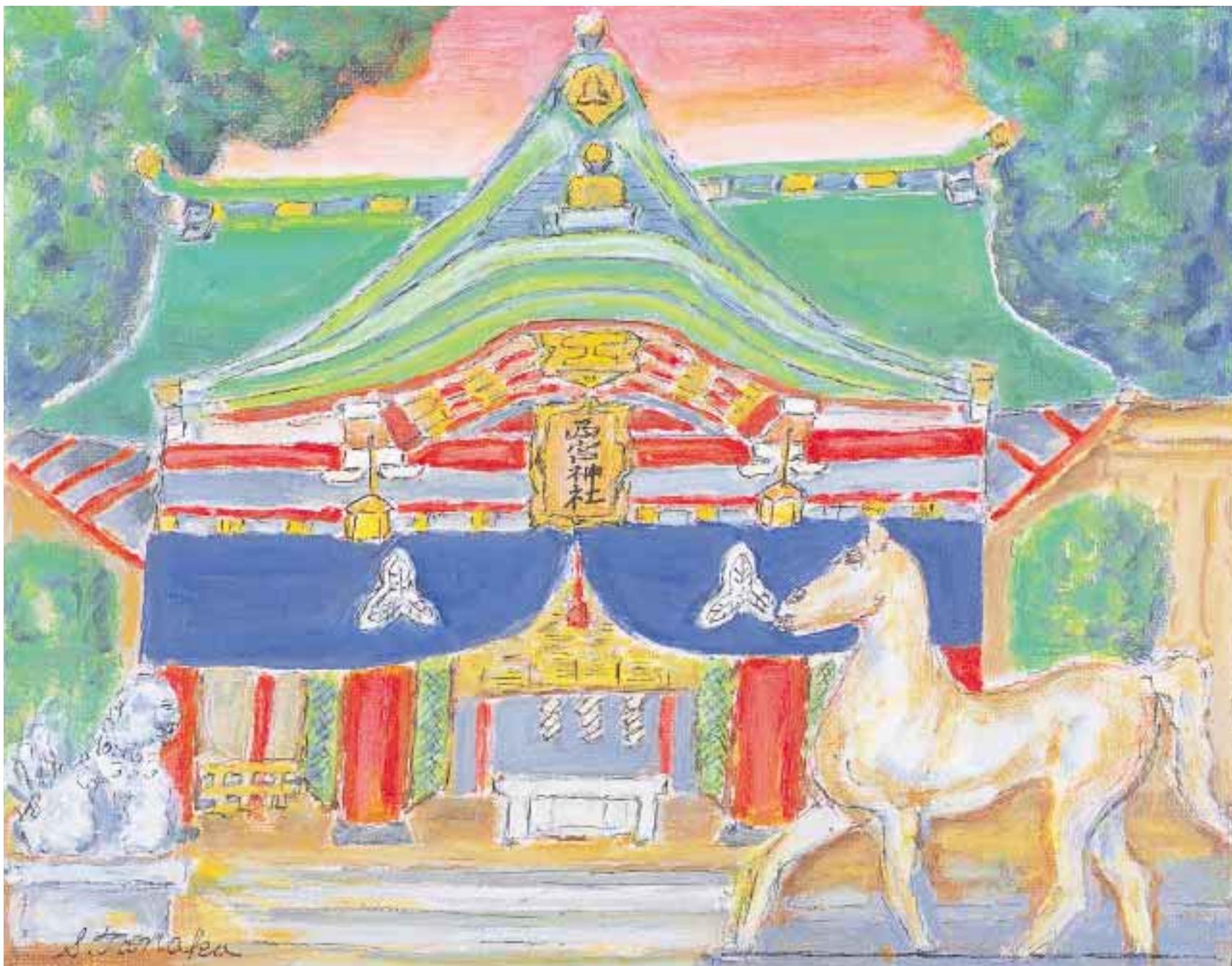
編集 / 市長室広報課 TEL / 0798-35-3400

毎月10日・25日 2回発行

推計人口 44万6638人(女 23万3454人 男 21万3184人) 世帯数 18万3330 面積 100.18km<sup>2</sup>(平成13年12月1日現在)

西宮神社・午年

絵・田中昭三郎(新協美術会会員)



市営住宅と私

露、五郎

(落語家)

私が西宮に住むようになったのは……左様、昭和二十二年(一九四七年)の夏頃やったように思いますのやがなア。と、申しますのが、実は私のところは中国、いやいや、広島山口のあの中国地方やおまへん、中国大陸からの引揚者でおまして、生まれは京都ですのや。

九才まで京都で育ちまして、七才から、この京都をはなれる九才まで映画の子役を経験致しまして……。

で、どういわけか祖父母と共に中国へ。広東省汕頭(スワトウ)という所で、マア……いろいろありまして、トド、広東(現広州)で戦争終結をむかえました。

昭和二十一年(一九四六年)二月引揚げて帰って来ました。京都は震災におうてへんさかい大丈夫や、ちゆうて帰ってみたら、京都に家おまへんのや。いや、家はおますのやが、私とこの家やのうなつてましたのや。

何がどないなつたのかわかりまへん、祖母と私、家無き子ですワ、そんな時噂に聞いたのが、「西宮は震災で丸焼けになつたさかい、かえつて住居は確保しやすいらしい。受入れ体制は万全らしい。で、早速……。

入れてもらうたのが、津門大塚町、国鉄西ノ宮駅前の市営住宅、木造バラック建、それでもホンマに有難かつたんです。当時私は十四才、世帯主の祖母がもつぱら此所に住みくらし、私はズット飛びあいてました。で、昭和二十二年十一月、二代目桂春団治の内弟子になって修行することになりましたし……。二代目春団治師が亡くなって後、昭和二十八年(一九五三年)の三月頃から西宮へ帰ってまいりました。今度は今津の津門宝津町六十四でやっぱり市営住宅、ここが私の本籍地になりました。で、甲子園枝川町の市営住宅、テラスハウスへ移つて嫁はんもりましたんや。

その嫁はんは初めてデートしたんが、今津の灯台、文化年間のものやそうで男のロマンが感じられます。

以来西宮に住み続けて半世紀、地元ではかえつておなじみがうすいようですが、どうか文化の香り高い西宮であつて欲しいものでおます。